

令和5年度 東京都立上野高等学校 学校経営報告

東京都立上野高等学校長
吉田 寿美

令和4年3月10日、東京都教育委員会が示した本校のスクール・ミッション（各校に期待される社会的役割等）は、『「自主協調・叡智健康」の具現化に向け、各種実行委員会による特色ある教育活動を通じて、国際社会で活躍する新しい時代のリーダーにふさわしい「幅広い教養」「豊かな人間性と社会性」「優れた課題解決能力」を持ち、グローバル化する社会で活躍する人材を育成します。』とある。グローバル化する社会で活躍する人材の育成が、本校の使命である。

グローバル化する社会で活躍する人材育成に向けて、上野高等学校創立99年目となる令和5年度は、①進学指導推進校、②英語教育研究推進校、③探究的な学び推進事業、④運動会・東叡祭・部活動を支える有志制度の4点に軸足を置き、本校のスクール・ポリシーでもある①幅広い教養、②豊かな人間性と社会性、③優れた課題解決力、④自己実現力の4つの力を磨く教育活動を進めた。

1 学習指導

全ての生徒の希望進路の実現に向けて、生徒の状況を丁寧に把握し、学力の定着を図ることを目標に、朝学習、放課後、長期休業日中の講習、土曜講習、勉強マラソン、自習室の開放などを実施し、学力の向上を図った。また学習手帳やスタディ・サプリ・Teamsの活用により、主体的な学習習慣を身に付けさせると同時に、家庭学習時間の増加を目指した。ICT支援員の支援の下、ICTを活用した授業や課題配信も盛んであり、教科指導の一つのツールとして定着してきている。

各教科・科目で読書活動の推進や言語活動の充実を意識した活動が見られる。今年度から本校に配置された2名の図書館専門員の方々が、配架を工夫したり、生徒のポップづくりや校内ビブリオバトルへの参加を推進したり、水曜日のお昼休みにはレコードを流すレコードデーを設けたりなど、活気ある図書館運営に努めている。台東区POPコンテスト2023入賞の生徒や、ビブリオバトル東京都大会準決勝進出の生徒も出てきた。校内の共有スペースや教室には、教員が本校の生徒に読ませたい本（英語や日本語）が詰まった本棚が置かれ、生徒はその本棚から自由に本を借りることができる。

「総合的な探究の時間（上野学）」でも、読書活動や言語活動を大いに取り入れており、3月には、早稲田大学 教育・総合科学学術院 根津 朋実 教授を講師として招聘し、探究発表会を開催した。1・2時間目は、各教室での個々の生徒によるポスターセッション、3・4時間目は体育館での2学年各クラス代表生徒のパワーポイントを活用したプレゼンテーションを行い、発表者と質問者の活発なやり取りが見られた。昨年度同様、2年生は、各自の研究テーマについて、4000字以上の論文を全員が書き上げた。

「総合的な探究の時間」の夏季休業中の課題である（株）リクルート主催「高校生Ring AWARD（アントレプレナーシップ・プログラム）」で、全国25,827名の参加者の中から準グランプリに選出された1年生、「情報I」の夏季休業中の課題である独立行政法人情報処理推進機構（IPA）主催「情報セキュリティコンクール 4コマ漫画部門」で、全国5000名の中から「一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 優秀賞」に選出された1年生と、教科の夏季休業中の課題で受賞する生徒が出てきた。

英語教育研究推進校として、英語に求められる4技能のバランス良い向上を図り、オンライン英会話やスピーチコンテスト等を活用して実践的コミュニケーション能力を高め、資格取得の充実を図った。TEP-CUP（東京都高等学校英語プレゼンテーションコンテスト）奨励賞を受賞した2年生もいる。GTECでは、令和3年度の2年生と同様、1年生のスコアからスコアを大きく伸ばした2年生に奨励賞が授与された。

2 進路指導

進学指導推進校として、希望を高くもち最後まであきらめさせない進路指導を推進した。進路指導部を中心に教職員が「3年間のキャリア教育」を共有し、生徒の学力を客観的に分析し、補習・講習や勉強マラソン、面談、進路アンケート、模試分析会、校内予備校等の進学指導を組織的に展開し、目標に向かい学び合う生徒集団を作ることを目指した。「東大訪問」「オープンキャンパス」「高校

生 RING」「フロンティア講座」「大学出張授業」「夢ナビプログラム」「ガイダンス」「進路だより」等で、自分の将来の在り方生き方を考えさせ、キャリアパスポートにまとめさせ、自己理解を深めて自己実現できる能力の養成も目指した。今年度は、進学指導推進校対象の民間による校内予備校を活用することができた。本校では、長期休業中や勉強マラソンで民間の予備校講師による数学と英語の講習が行われ、生徒の評判も良かった。

自習室は、昨年度から朝 7 時半から 19 時までの自習室の開室と土曜日の開室を追加し、活用の推進を図った。令和 3 年度、4 年度、5 年度と、年を重ねるごとに、自習室で学ぶ生徒の姿が増えている。進学指導推進校のチューター予算を活用して、放課後本校の卒業生が自習室に滞在し、生徒の質問や相談に乗ることができる体制を整えている。

進学実績は、国公立大学、早慶上理 ICU、GMARCH と全体的に健闘した。難関国公立大学や国立医学部に挑む生徒が複数出てきている。進路決定率は、94% となり、3 年生の多くが、自身が納得する進路先に進めたと推測される。3 年生では、「総合的な探究の時間（上野学）」を活用した総合型選抜の受験者が延べ 12 人いた。本人の志向と大学での学びが合致することにつながっている。

3 生活指導

自主性の涵養、思いやりと規範意識の向上及び心身ともに健康な人間の育成を目指した。そのために、①場に応じた適切なふるまい、思考力・行動力、人間性と社会性を大事にした、自律的でお互いを尊重する集団づくり、②カウンセリング委員会を中心とした教育相談体制の充実を図り、生徒が安心して生活できる環境づくりを進めた。

本校を訪問する方々が、本校の生徒の話聞く態度や気持ちの良い挨拶を褒めている。今後も、更にこの雰囲気醸成したい。

今年度から、年 3 回のいじめ調査を Forms でとることにした。素早い結果の集計と対応ができた。

本校では、朝の SHR に出席をとっている。SHR 前の朝学習では出席をとらないが開始時刻にはほとんどの生徒が席に座り朝学習を始めている。朝学習開始時刻に間に合わない生徒を指導したところ、改善が見られた。

4 特別活動・部活動

創立 100 周年が近づく今年度は、上高生としての自覚と誇りを育成することを念頭に置いた。5 月に、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、新型コロナウイルス感染症流行前のように、伸び伸びと活動できる 1 年となった。

第 77 回関東高等学校男子バレーボール大会出場、第 28 回冬季都立高等学校男子バレーボール選手権大会優勝の男子バレーボール部、第 68 回全国高校軟式野球選手権大会東京都大会第 3 位の軟式野球部、第 47 回全国高等学校総合文化祭（かごしま総文）出場の文芸部、上野恩賜公園開園 150 周年総合文化祭グランドフィナーレでの吹奏楽部の演奏と料理研究部のお菓子の配布をはじめとして、各部活動が一生懸命に活動していた。本校独自の有志委員会が主導する学校行事も盛り上がった。1 月には、男子バレー部と哲学勉強会は、令和 5 年度東京都教育委員会児童・生徒等表彰の受賞が決定した。

部活動加入率が、101.7% と昨年度の 93.5% を大きく上回った。部活動は、自身の個性や能力を生かせる場でもあり教室以外のもう一つの場でもある。高校時代における部活動の魅力を感じている生徒が多いと思われる。学校評価で、学校生活の満足度・特別活動・部活動の積極的な参加などについて、8 割前後の生徒が肯定的評価をしている。

東京都教育委員会主催の TGG サマーキャンプに 24 名の生徒が応募した。また、多文化共生海外派遣研修で、代表生徒がヨルダン研修に行く予定であったが、残念ながら治安の悪化のために行くことができず、代替としてヨルダン大使館との交流等を行った。

5 募集・広報活動

充実した学校案内の作成、HP の更新、学校説明会、見学会、授業公開、中学校訪問、塾訪問などを一層充実させ、本校の教育活動や成果を積極的に発信すると同時に、本校で意欲的な活動を希望する生徒を募集し、地域に信頼され支えられる活気ある学校づくりを推進した。学校説明会での部活動生徒による学校紹介や HR 委員会生徒による学校案内が、来校者に好評である。また、今年度は、各部活動の HP 担当生徒が記事や写真を紹介したり、HR 委員会生徒が動画「上高生の 1 日」を作成し、東京都のページ（まなびゅ〜）に掲載したり、文化祭で上映したりした。入学者選抜の学力検査では、

東京都で5番目に多い受験者を集めた。

6 学校経営・組織体制

伝統の上に新しい上野高校を作り上げ、組織の強化を図った。さらに、様々な面から見て、安心・安全な学校をと運営に努めた。会議や業務の効率化、閉庁日、定刻退庁日、育児・介護支援の取得等により、教職員のライフ・ワーク・バランスにも努めた。

学校評価での生徒・保護者満足度は、昨年度の75.3%から80.1%と大幅に上昇した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、通常の学校生活を過ごせるようになったからではないだろうか。

5月には、教育長をはじめとする教育委員会幹部による学校視察があり、本校の日常の教育活動を見ていただけた。

また、今年度は、来年度の創立100周年に向けて、学校・PTA・同窓会（東叡会）・上高会と、2か月に1回程度の間隔で、運営会議を開催した。学校・PTA・同窓会（東叡会）・上高会との役割分担、予算、式典の大まかな内容、記念誌の原稿依頼と集約、記念品の発注まで、準備を進めることができた。

ところで、本校は、地域の避難所になっている。今年度は、本校で避難所運営委員会が開かれ、本校での総合防災訓練を行い、後日避難所運営にあたっての具体的な実施内容について話し合った。

(2) 数値目標

※昨年度の家庭学習時間は2学期と3学期の平均値

	【今年度の実績】	【昨年度の実績】
①生徒の家庭学習時間	3年生：268.0分 2年生：100.4分 1年生：79.7分	(248.4分) (76.9分、85.6分) (68.4分、72.9分)
②GTEC スコア	2年生：861点 1年生：825点	(835点) (805点)
③大学入学共通テスト5教科受験	70人	(70人)
④大学入学共通テスト80%以上得点者	6人	(0人)
⑤進路決定率	94%	(93%)
⑥国公立大学の現役合格者	42人	(50人)
⑦難関私立大学（早慶上理ICU）現役合格者	43人	(41人)
⑧私立大学（GMARCH）現役合格者	228人	(220人)
⑨SC連絡会	9回	(11回)
⑩部活動加入率	101.7%	(93.5%)
⑪ホームページ更新回数	403回	(310回)
⑫入学者選抜推薦応募倍率	2.61倍	(2.84倍)
⑬入学者選抜一次(前期)最終応募倍率	1.95倍	(1.81倍)
⑭生徒、保護者満足度	80.1%	(75%)